

新年明けましておめでとうございます。

本日は新年会にお越し頂き、皆様とお会いできて嬉しく思います。

さて、昨2016年、ブラジルでは、リオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピックが成功裏に開催されました。皆様の声援のおかげで、日本は史上最多の41のメダルを獲得しました。また、ブラジル選手はサッカーの優勝、女子柔道金メダルを初め大活躍をし、その躍動、飛翔ぶりは記憶に新しいところです。

酉年の2017年も、ブラジルの大空を大きな鳥が力強く羽ばたくような、躍動、飛翔の年になることが期待されます。まず、この国は、大きな転換期にあり、政治・経済改革により「新しいブラジル」に向けて動き出そうとしています。また、日本とブラジルの関係も前に向けてさらなる歩みを進めようとしています。本年5月には、世界に先駆けて、日本の文化、技術及びライフスタイルのショーケースとなる「ジャパン・ハウス」がサンパウロに開設されます。さらに、今年、私たちは来年の日本人ブラジル移住110周年に向けて共に取り組んでいきます。

当地では、移住者の方々が農業をはじめとしてブラジリアの町づくりで果たした大きな役割はよく知られています。今日では文化面でも、ブラジリア日本祭りなど、多くの文化行事が行われていると聞いております。私自身、琉球国祭り太鼓のイベントにお招き頂きまして、太鼓を力強く演奏する若い世代の方々の姿に接し、日本の文化がしっかりと継承され、日系社会が日本とブラジルの架け橋となっていることを実感し感銘を受けました。

私は昨年末に東京で大使会議に出席し、安倍総理大臣より、日系社会との絆をさらに強くしたい、大使が先頭に立って日系社会との連携強化に努めるようにとの言葉を頂きました。また、ブラジル側においても、テメル大統領を初め、お目にかかる要人の方がみな、この国における日系社会の貢献を賞賛されており、大変心強く感じます。

今年も、皆様と力を合わせて日系社会の絆を更に強くするとともに、日伯関係をさらに躍動、飛翔させていきたいと考えています。そして、今年が、ここにいらっしゃる皆様、皆様の御家族お一人お一人にとって健やかで良い年になりますよう祈念致します。

(了)